

# はにわ通信

No.351 令和6(2024)年 6月号

「大昔の暮らし」の展示！  
6月9日までです！

## 【松阪市文化財センターって、昔は・・・】

松阪市文化財センターが現在ある場所には、昔、カネボウ綿糸松阪工場が建っていました。工場の敷地は広大で115,995㎡もの広さがありました。敷地内には、工場やその関連施設、寄宿舎やグラウンド、社宅など様々な施設が配置されていました。現在の文化財センターや松阪図書館、鈴の森公園だけでなくもっと広い土地が、工場の敷地だったのです。



現在の松阪市文化財センター ギャラリー棟



カネボウ綿糸松阪工場の平面図と文化財センターの位置

## 【カネボウ綿糸松阪工場の倉庫をリユース】

松阪市が工場の跡地を購入し、平成8年には倉庫がギャラリー棟に生まれ変わりました。ギャラリー棟は、イギリス積みのレンガ造で長大な外観を良くとどめています。国土の歴史的景観に寄与しているものという理由で、2002年に国の登録有形文化財として登録されました。



ギャラリー棟 通路側



登録有形文化財 登録の看板(拡大)

現在このギャラリー棟は、個人やグループの作品展示の場として利用されています。松阪市文化財センターが発行している「催し物案内」や「広報まつさか」にも作品展の案内が載っているので、ぜひ見に来てください。

工場の倉庫も私たちの長い歴史の中で生まれ、想いが残り、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財です。これからも大切に守っていきと共、活用していきましょう。(担当)

## 【船形埴輪って、何がすごいの?】 ~所長からひと言~

今回の三重県宝塚一号墳出土埴輪国宝決定の最大の目玉は、船形埴輪です。この船の埴輪は、「極めて造形性、写実性に優れかつ残りが良く、古墳時代における船を知るための構造や、全体の形を知るうえで日本の埴輪を紹介するのに欠くことができない、貴重なもの」とされました。

この船には、威厳を表現したとみられる大刀(たち)、威杖(いじょう=権威を示す杖)、蓋(きぬがさ=王者の場所をあらわす日傘のようなもの)をかたどった4本の立ち飾りが立てられています。船を飾り立て、威儀具を備えた姿は、この地域の王の権威を象徴する造形や装飾と考えられ、国内では他に例がない特別な価値がある、との専門家の意見で国宝になるべきとされました。



たからづか とうふんしゅつど ふねがたはにわ 宝塚1号墳出土の船形埴輪

## 文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 18歳以下無料 開館時間9:00~17:00 入館は16:30まで

- 第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 学習支援展示 「大昔の暮らし~縄文・弥生・古墳時代~」 ※6月9日(日)まで

## 【ギャラリー】 入場無料

- 第1G ◆西黒部日本画教室 創造展  
5月31日(金)~6月2日(日) 10時~16時 ※最終日は15時まで
- 第1G ◆第48回「カンバス展」  
6月6日(木)~6月9日(日) 9時~17時 ※初日は13時から、最終日は16時まで
- 第1G ◆第7回 彩嬉会作品展  
6月13日(木)~6月16日(日) 9時半~17時 ※最終日は15時まで
- 第3G ◆麗石先生を慕って ~玉置麗石追悼花展~  
6月15日(土)・6月16日(日) 10時~17時 ※最終日は16時まで
- 第1~3G ◆第12回 松阪写真交流会 フォトフェスティバル  
6月25日(火)~6月30日(日) 10時~17時 ※初日は13時から、最終日は16時まで

< 6月の休館日 3日(月) 10日(月) 17日(月) 24日(月) >

【発行】松阪市文化財センター

文化財センターの情報はこちら →

【☎】0598-26-7330

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

